

有野台は昭和40年代に開発されたニュータウンであり、現在では高齢化が進行し、いわゆるオールドニュータウンとなっています。少子高齢化による地域活力の低下や、学校統廃合といった状況を受け、地域住民が主体的にコミュニティの再生と相互扶助の関係性を取り戻すため、平成29年より「ありの台マルシェ」が地域団体によって開催されてきました。令和6年にNPO法人ありの台を設立し、令和7年度からはNPO法人が主催となり、ありの台マルシェを主催することとなりました。

2025 春のありの台マルシェ 5月4日（日）開催

出店者：31 ブース
キッチンカー：14 台
来場者数：約 1200 人（コープレジ数）



有野台商店街の中にある「コープ有野」が閉店候補に上がったこともあり、【コープ応援マルシェ】と銘打ち、自治連合会と協力して、コープ商品券の抽選も開催しました。



キッチンカーは大盛況。焼きそば、クレープ、串カツ、唐揚げとポテトなど、バラエティに富んだ出店でした。



公園のステージでは、有野台児童館の「よさこい」に始まり、ありの台小学校金管バンド、地元住民によるバンドや玉美会・婦人会の踊りなど盛りだくさん！



2025 秋のありの台マルシェ 10月19日（日）開催

出店者：29 ブース
キッチンカー：13 台
来場者数：約 1300 人（コープレジ数）



毎年11月開催で寒かった秋のマルシェですが、今年は初めて10月に開催。評判は上々でした。



今回のステージの目玉はお猿さん。観客を楽しませてくれました。キッチンカーは、いつもどおり大盛況！



カウントダウンでイルミネーションが点灯！合わせて、バンドの演奏も行われました。舞台の提灯がいい感じ！



春秋とも天気に恵まれ、高齢者の外出の機会ともなり、たくさんの来場者で賑わいました。今後は、企業の寄付なども視野に入れながら、「ありの台マルシェ」を自立可能な事業にしていきたいと思っています。有野台の住民同士が顔を合わせる機会をもっとたくさん作り、安心して暮らせる有野台をこれからも目指していきます。